

鹿俣山

M・T

期 日：8月26日（水） 晴れ

コース：玉原ラベンダーパーク→鹿俣山1636.7m→1295m 地点→長澤三角点 1302m
→ブナ平→玉原湿原左回り→1184m 地点→センターハウス

参加者：M・T

報 告：



ラベンダーを見てから登山したいと思いラベンダーパークの開園時間8:30分を待つ。本来なら入園料1000円なのだが、24日から無料となり、リフト、売店も営業終了となっていたが、入場は30日迄させてくれるとの事。パーク入り口から登山開始。



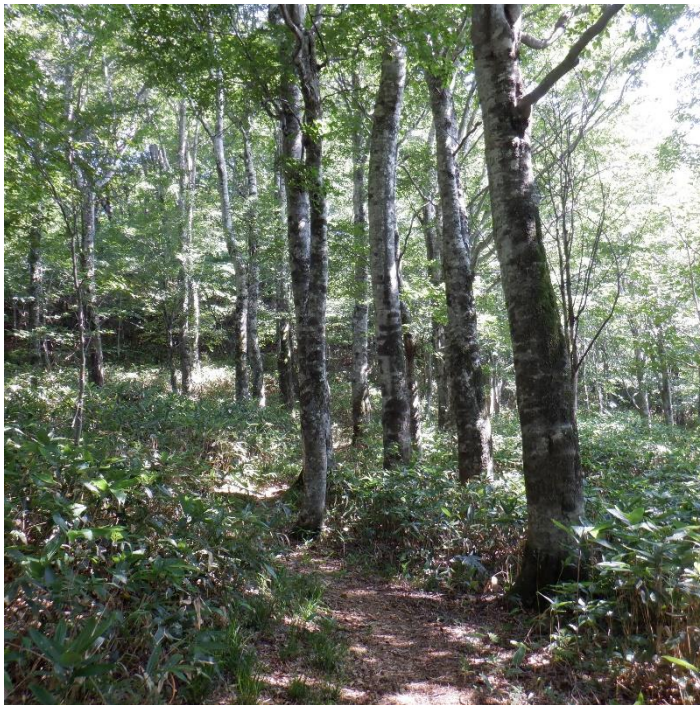
マリーゴールド・サルビア・ラベンダーと手入れの行き届いた花畑が続く。最盛期はもっと豪華なのだろう。

若いカップルが登山姿でどんどん先を歩いて行くが、気にせず写真を撮りながらマイペースで歩く。後で、この二人に思いがけない場所で出会うことになった。





静かなブナ林を一人楽しむ。この辺りは関東有数のブナ林との事だ。なので、あちこちに熊出没注意の看板有り。もちろん、鈴を鳴らし、時々、笛も吹く。



時折、左手にスキー場のリフトが見える。シャクナゲ群生地を通過。規模はあまり大きくない気がする。

アスファルトのまっすぐ続く道を歩くこと15分ぐらい、右に山道を見つける。

なんの標識も無いがここから登山道に入ると確信。ラベンダーと別れ山道に入る。明瞭な踏み跡を10分も歩くとキャンプ場に着いた。しっかりした標柱が有り鹿俣山への案内も有った。

山頂まで1時間45分のコースタイム表示





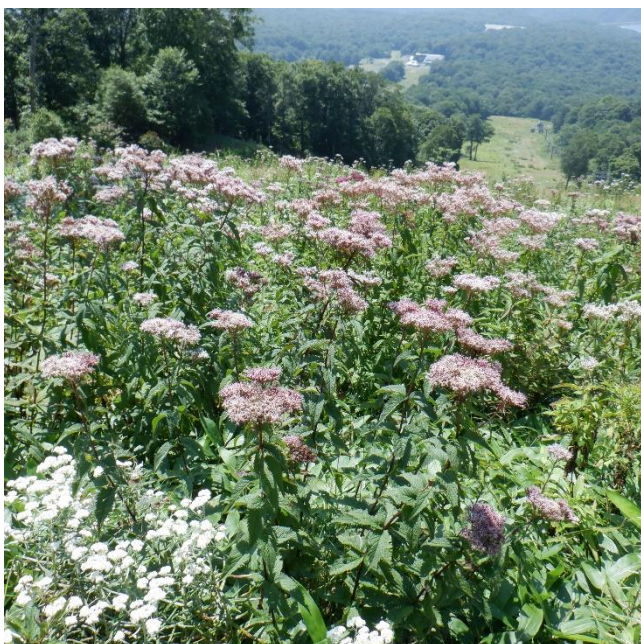
11時丁度山頂に着く。誰も居ないのでお決まりのザック写真。しばし、眺望を楽しむが、一人では寂しいので直ぐに下山にかかり、長沢三角点を目指す。

山頂から見る玉原湖とラベンダーパークの建物



長沢三角点へは、スキー場のリフトの下を潜って道はついている。この辺りは管理された花畑では無いので歩くのも嬉しい。

ウスユキソウ、ヨツバヒヨドリの大群落。山はすでに秋。ススキの穂も色づいていた。

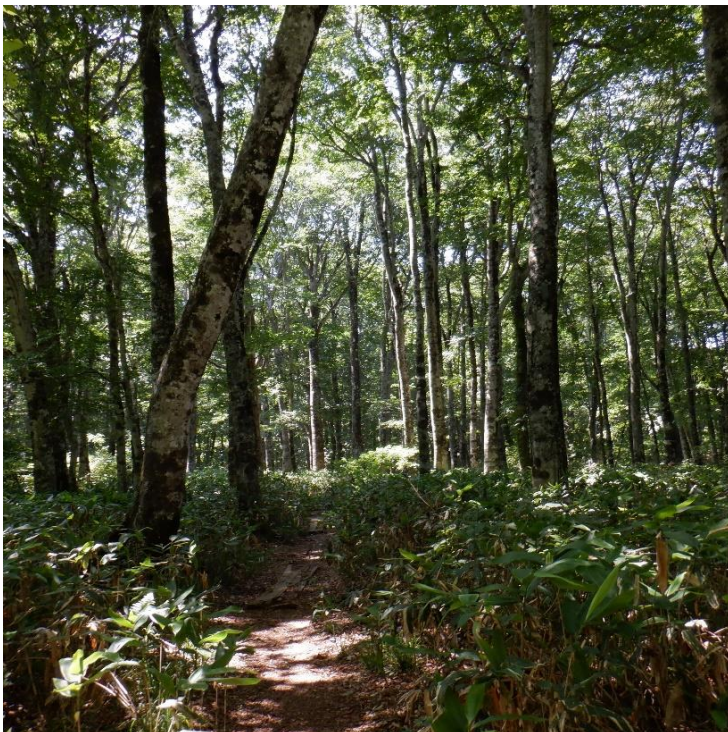




ゲレンデの秋を満喫していると、朝の若い二人が何処からともなく現れた。

話によると、ラベンダー畑を真っ直ぐ進んで道がわからなくなり、草茫々の中を歩いてやっとここに出てきたという。「鹿俣山すぐにわかりましたか？」と聞かれ・・・はいと答えた。朝のコースと逆コースでこれから登る様だ。登山道を見つけることが出来て本当に良かった。地図もコンパスも持たず軽い気持ちのハイカーさんでした。

スキー場を抜けて、玉原湿原に向かうと、ブナ林が続きブナ平と呼ばれる所に出る。白神山地に次いで大きなブナ林との事。こんな身近にこんなに美しいブナ林が有ることに驚く。ブナは東北と思い込んでいる自分を反省。



ブナ平で昼食をゆっくり摂る。

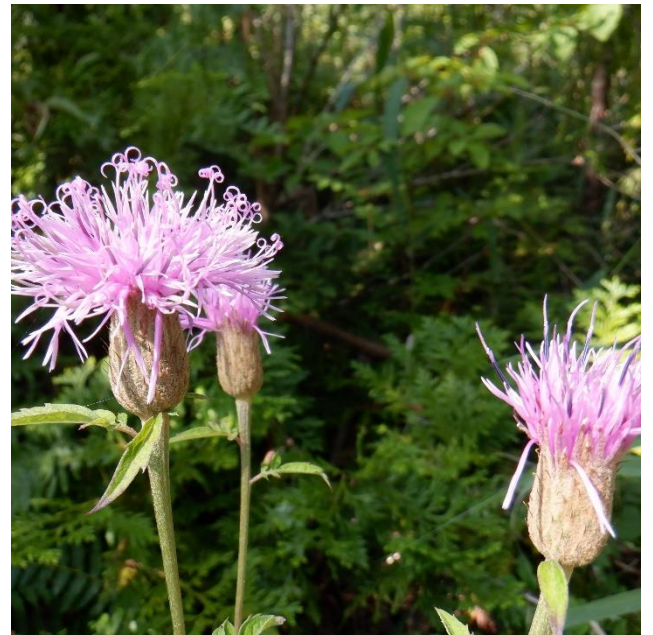
ブナ地蔵はブナの枯れた根元の姿をお地蔵さまにたとえた物の様だ。

ブナ平からは玉原湿原に向かう予定だったが、数分先まで行きニヶ髯山への標識を確認。



このコースからも尼ヶ禿山經由伽葉山に行ける事を確認し玉原湿原へ向かう。

小尾瀬と呼ばれる玉原湿原の8月はタムラソウ・オクトリカブトが目立った。



玉原湿原を振り返って



湿原を出ると自然環境センター・十二山宮・ブナの湧き水を通り、センターハウスに着いた。不思議なことに建物のどこにもセンターハウスの表示は無く、沼田青少年・・・と書かれていた。案内のチラシ等にはすべてセンターハウスと明記されているのだが・・・？

本日の山行はここで終わりとし迎えの車を待つ。